

農林水産統計

STATISTICS OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES

平成17年11月17日発表

平成17年産 かんしょ、豆類（乾燥子実）作付面積 及び果樹、茶栽培面積（九州）

- かんしょは焼酎ブームで2年連続の作付増加 -

【調査結果の概要】

1 かんしょ

かんしょの作付面積は1万8,400haで、前年に比べて1,000ha
(6%)増加しました。

これは、価格低下や労力事情等により長崎県、熊本県及び福岡県で減少したものの、
鹿児島県及び宮崎県において、醸造用の需要が増加したことにより作付面積が増加した
ためです。



2 豆類（乾燥子実）

大豆（乾燥子実）の作付面積は2万2,600haで、前年に比べて
1,400ha(6%)減少しました。

これは、おもに水稲への転換により九州全県で作付が減少したためです。

小豆（乾燥子実）の作付面積は866haで、前年に比べて83ha(9%)減少しました。
らっかせいの作付面積は477haで、前年並みとなりました。

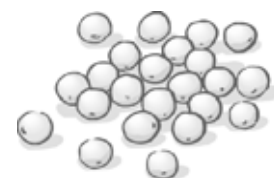


表1 平成17年産かんしょ・豆類（乾燥子実）の作付面積

単位 { 面積：ha
対比：%

区 分	田畑計			田			畑		
	作付面積	前年産との比較		作付面積	前年産との比較		作付面積	前年産との比較	
		対差	対比		対差	対比		対差	対比
かんしょ	18 400	1 000	106	1 170	120	112	17 200	800	105
大 豆	22 600	1 400	94	21 500	1 300	94	1 070	130	89
小 豆	866	83	91	398	56	88	468	27	95
らっかせい	477	2	100	40	4	91	437	2	100

3 果 樹

主な品目の栽培面積をみると、みかんが1万8,500haで前年に比べて400ha(2%)減少したのをはじめ、くりは5,820haで同230ha(4%)、かきは3,420haで同50ha(1%)、ぶどうは2,250haで同40ha(2%)、いずれも減少しました。

これは、おもに管理不良園の廃園等によるものです。

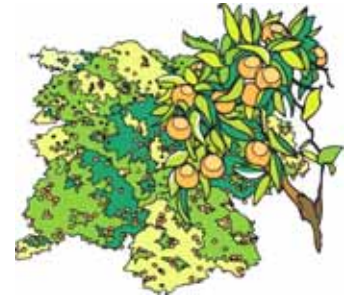
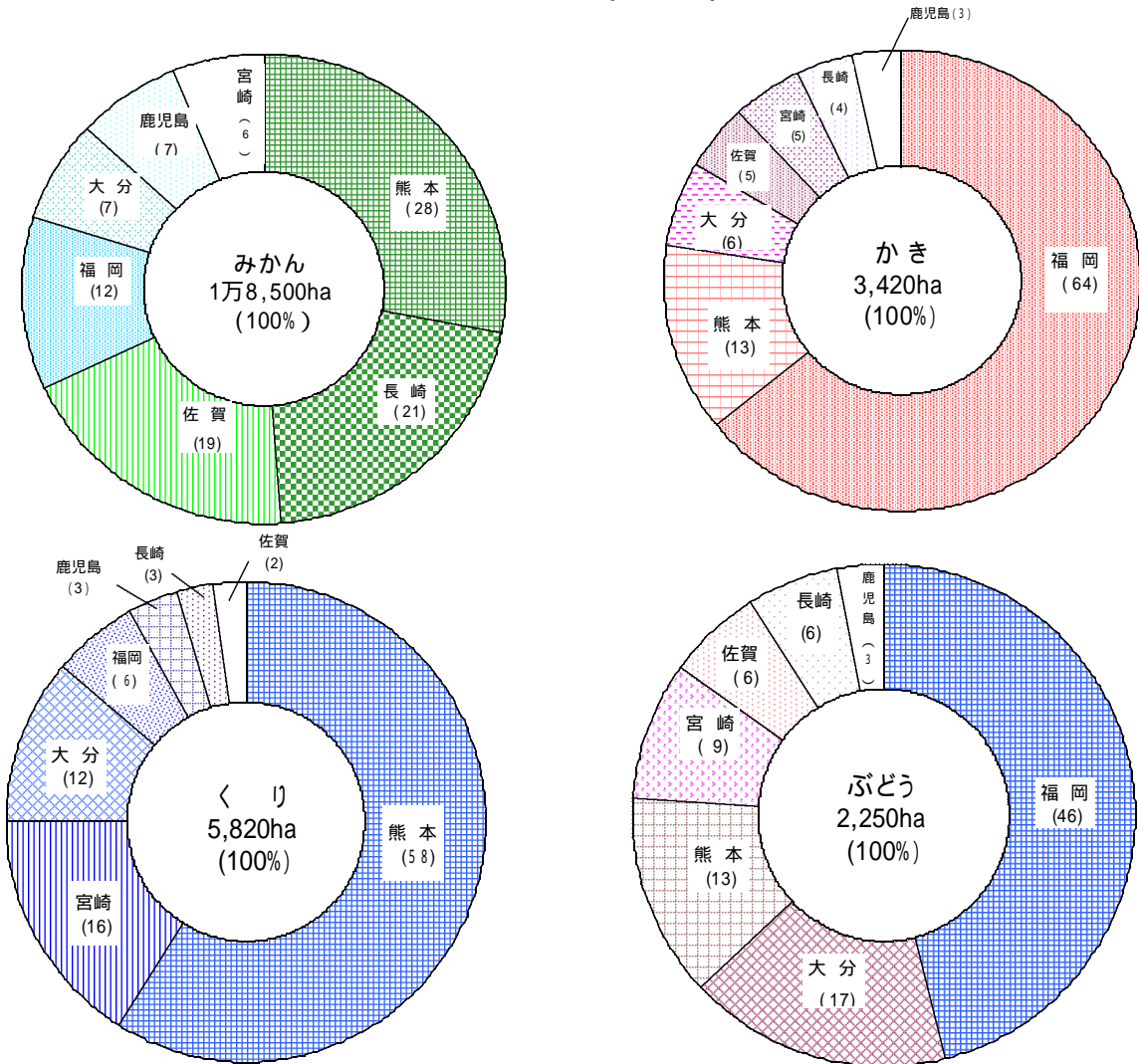


図1 主な果樹の県別栽培面積割合(平.17)

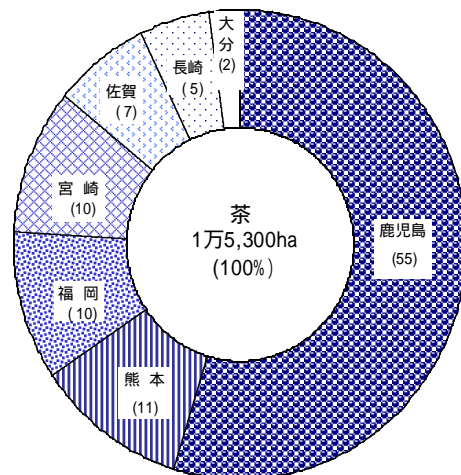


4 茶

茶の栽培面積は1万5,300haで、前年に比べて200ha(1%)減少しました。

これは、鹿児島県及び宮崎県において生産振興に伴う規模拡大が図られたものの、大分県及び熊本県において、傾斜地等の栽培条件不利地を中心に、生産性の低い園地の廃園があったためです。

図2 茶の県別栽培面積割合(平.17)



統 計 表

【目次】

	ペ - ジ
1 かんしょ・豆類（乾燥子実）作付面積	
・かんしょ -----	3
・大豆、小豆、らっかせい -----	3
2 果樹栽培面積	
・みかん、なつみかん、ネ - ブルオレンジ -----	3
・はっさく、いよかん -----	3
・その他かんきつ類（不知火・清見・ポンカン） -----	3
・りんご、ぶどう、日本なし、もも、びわ -----	4
・うめ、かき、くり、すもも、キウイフル - ツ -----	4
3 茶栽培面積 -----	4
4 関連するデータ及び情報 -----	5 ~ 6

【利用上の注意】

1 計と内訳は、ラウンド（四捨五入）のため一致しない場合があります。

2 表中の記号は、以下のとおりです。

この統計表で使用した記号は、次のとおりです。

「0」……………単位に満たないもの 「-」……………事実のないもの

「 」……………減少したもの 「…」……………事実不詳又は調査を欠くもの

	原 数	7 桁以上	6 桁	5 桁	4 桁	3 桁以下
	ラウンドする桁(下から0の数)	3 桁(000)	2 桁(00)		1 桁(0)	ラウンドしない
例	計算数値(ラウンド前)	1 234 567	123 456	12 345	1 234	123
	計算数値(ラウンド後)	1 235 000	123 500	12 300	1 230	123

【 統 計 表 】

1 かんしょ、豆类（乾燥子実）作付面積

単位：ha

区 分	かんしょ		大 豆				小 豆		らっかせい	
	作付面積	対前年差	作付面積	対前年差		作付面積	対前年差	作付面積	対前年差	
				田 作	田 作					
九州計	18 400	1 400	22 600	21 500	1 400	1 300	866	83	477	2
福 岡	210	15	7 790	7 720	350	340	77	7	6	1
佐 賀	121	1	7 370	7 220	410	390	96	5	10	0
長 崎	584	60	617	474	145	113	95	1	110	39
熊 本	1 250	20	3 100	2 730	130	110	226	11	27	2
大 分	306	9	2 850	2 680	300	280	278	49	51	5
宮 崎	2 430	170	466	390	76	56	61	6	75	12
鹿児島	13 500	900	406	307	35	36	33	4	198	23

2 果樹栽培面積

単位：ha

区 分	み かん		なつみかん		ネーブルオレンジ		は っ さ く		いよかん	
	計	対前年差	計	対前年差	計	対前年差	計	対前年差	計	対前年差
九州計	18 500	400	1 370	60	210	10	241	18	542	54
福 岡	2 230	70	91	0	23	2	47	0	53	6
佐 賀	3 570	140	41	1	14	1	30	0	224	5
長 崎	3 930	70	58	5	6	0	35	3	90	6
熊 本	5 140	50	692	42	112	3	35	8	57	16
大 分	1 310	80	149	17	36	4	60	3	86	19
宮 崎	1 000	30	21	0	14	1	29	4	2	0
鹿児島	1 270	30	316	0	5	1	5	0	30	2

単位：ha

区 分	その他かんきつ類							
	計	対前年差	うち、不知火		清 見		ポンカン	
			小 計	対前年差	小 計	対前年差	小 計	対前年差
九州計	7 070	40	1 850	100	406	18	1 490	50
福 岡	267	0	32	2	31	1	16	2
佐 賀	445	11	258	20	85	9	39	1
長 崎	353	11	170	12	28	0	66	0
熊 本	2 190	50	1 140	40	187	8	255	9
大 分	1 010	0	67	4	66	0	179	5
宮 崎	780	15	39	5	0	0	133	7
鹿児島	2 020	30	147	9	9	0	802	28

単位：ha

区 分	りんご		ぶ ど う		日 本 な し		も も		び わ	
	計	対前年差	計	対前年差	計	対前年差	計	対前年差	計	対前年差
九州計	60	7	2 250	40	2 230	50	408	14	1 180	30
福 岡	20	0	1 040	20	548	11	133	6	57	0
佐 賀	5	0	130	6	403	12	28	3	47	2
長 崎	1	0	126	2	86	4	32	1	635	6
熊 本	19	4	288	2	629	12	143	2	81	3
大 分	10	2	379	7	437	8	42	0	68	3
宮 崎	5	0	205	4	78	2	20	1	5	0
鹿児島	0	1	80	1	51	0	10	1	290	10

単位：ha

区 分	う め		か き		く り		す も も		キウイフルーツ	
	計	対前年差	計	対前年差	計	対前年差	計	対前年差	計	対前年差
九州計	1 970	20	3 420	50	5 820	230	387	6	519	24
福 岡	474	4	2 190	10	339	8	111	1	300	1
佐 賀	202	1	164	2	136	6	20	1	59	0
長 崎	140	7	137	3	140	3	8	0	21	1
熊 本	226	7	459	1	3 420	100	47	1	31	10
大 分	343	0	194	32	656	83	64	0	86	10
宮 崎	215	4	163	4	941	29	22	0	9	2
鹿児島	374	3	110	2	188	4	115	3	13	0

3 茶栽培面積

単位：ha

区 分	栽 培 面 積		栽 培 面 積 対 前 年 差
		専 用 茶 園	
九州計	15 300	14 900	200
福 岡	1 580	1 560	0
佐 賀	1 040	1 020	0
長 崎	781	769	1
熊 本	1 660	1 510	10
大 分	345	309	255
宮 崎	1 550	1 460	70
鹿児島	8 390	8 270	10

【関連するデータ、情報】

1 かんしょ・豆類作付面積累年表(九州)

単位：ha

年次	かんしょ	大豆	小豆	らっかせい
平成8年	20 800	12 700	1460	986
9年	20 100	12 800	1450	884
10年	19 700	17 900	1420	790
11年	19 000	18 500	1310	693
12年	18 200	20 900	1270	628
13年	17 500	25 300	1190	595
14年	16 700	26 300	1110	583
15年	16 500	26 000	997	523
16年	17 400	24 000	949	479
17年	18 400	22 600	866	477

2 果樹栽培面積累年表(九州)

単位：ha

年次	みかん	なつみかん	はっさく	いよかん	ネーブルオレンジ	その他かんきつ類	りんご
平成8年	25 300	2 130	518	1 290	511	6 970	133
9年	24 500	2 010	486	1 180	462	6 930	107
10年	23 700	1 930	444	1 110	427	7 010	100
11年	23 100	1 850	402	1 050	386	6 990	97
12年	22 400	1 750	375	963	358	7 050	89
13年	21 300	1 650	320	838	302	7 060	86
14年	20 600	1 580	297	755	269	7 030	84
15年	19 800	1 520	282	654	247	7 050	76
16年	18 900	1 430	259	596	220	7 030	67
17年	18 500	1 370	241	542	210	7 070	60

* 下記内訳計上

単位：ha

年次	日本なし	かき	びわ	もも	すもも	うめ	ぶどう
平成8年	2 550	3 970	1 550	542	480	2 090	2 850
9年	2 550	3 930	1 520	533	471	2 080	2 750
10年	2 550	3 830	1 490	513	455	2 090	2 680
11年	2 530	3 730	1 430	502	440	2 080	2 620
12年	2 500	3 680	1 390	483	430	2 080	2 580
13年	2 480	3 600	1 350	469	421	2 070	2 480
14年	2 410	3 590	1 290	462	413	2 060	2 450
15年	2 330	3 550	1 250	432	407	2 040	2 360
16年	2 280	3 470	1 210	422	393	1 990	2 290
17年	2 230	3 420	1 180	408	387	1 970	2 250

単位：ha

年次	くり	柿(フルーツ)
平成8年	6 970	862
9年	6 790	778
10年	6 660	704
11年	6 540	658
12年	6 480	627
13年	6 330	597
14年	6 210	571
15年	6 140	555
16年	6 050	543
17年	5 820	519

参考：その他かんきつ類のうち主なかんきつ内訳

単位：ha

年次	不知火	清見	ポンカン
平成8年
9年
10年
11年
12年
13年
14年
15年	1 670	449	1 590
16年	1 760	424	1 540
17年	1 850	406	1 490

資料：農林水産省統計部『耕地及び作付面積統計』による。

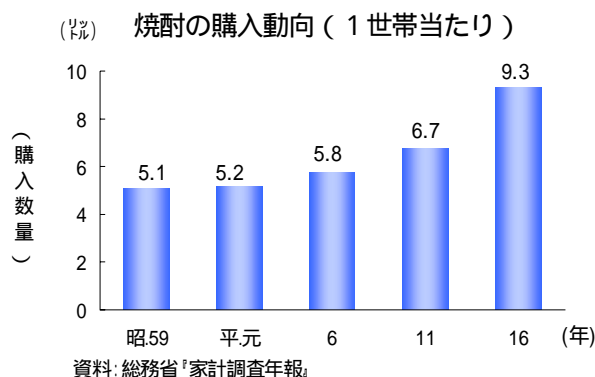
注：14年産まではその他かんきつ計で公表し、15年産より不知火・清見・ポンカンを内訳として分類した。

3 茶栽培面積累年表(九州)

単位：ha	
年次	栽培面積
平成8年	14 800
9年	14 800
10年	14 800
11年	15 000
12年	15 200
13年	15 300
14年	15 400
15年	15 500
16年	15 500
17年	15 300

資料：農林水産省統計部『耕地及び作付面積統計』による。

4 焼酎購入数量の推移(全国平均)



総務省の「家計調査」によると、焼酎の1世帯当たり購入数量は、平成5年から増加傾向で推移し、平成16年は9.3リットルとなっています。

【調査の仕様】

1 調査の目的

かんしょ、豆類の作付面積や果樹及び茶の栽培面積の現状とその動向を調査し、生産対策、需給対策等に関する中期的及び長期的な農林行政を推進するための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査の対象

各都道府県を対象に行っている。

3 調査期日

果樹・茶 平成17年 7月15日
かんしょ・豆類 平成17年 9月1日

4 調査方法

センター職員による関係団体に対する面接調査、巡回・見積りによる。

5 調査客体数

豆類・果樹・茶
面接調査：501団体等
巡回・見積り：380市町村
かんしょ
面接調査：540団体等
巡回・見積り：380市町村

6 集計方法

各都道府県の結果を積上げ集計している。

7 目標(実績)精度

本調査においては、目標精度は設定していない。

8 用語の解説

作付面積とは、非永年性作物をは種又は植え付けし、発芽又は定着した作物の利用面積のことである。(水稻・野菜等)

栽培面積とは、永年性作物の利用面積のことである。(果樹・茶等)

専用茶園とは、茶の栽培が1か所に1a以上集団的に栽培され、かつ、この茶園で混作、間作がないものをいう。

【関連リンク】

九州農政局ホームページ > 農林水産情報 > 農林水産統計

<http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/home/sokuho.htm>

【掲載内容に関するお問い合わせ先】

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部

生産流通消費統計課 生産統計第1係

電話：(代) 096 - 353 - 3561 (内線4753)

直通電話： 096 - 353 - 7573

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局 統計部

統計企画課 企画第2係

電話：(代) 096 - 353 - 3561 (内線4723)